

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 19 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '市民参加型イベント開催支援事業' and '観光の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the Sakurazakura Festival and event management.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段 (参加団体数, 会議回数, 催事数), ②対象 (人口, ヤマザクラ観光客), and ③意図 (催事来場者数).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員, 述へ業務時間) for 28 and 29 fiscal years.

事業費の内訳

Table showing the breakdown of business expenses (事業費の内訳) for 28 and 29 fiscal years, including '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for 29年度, 30年度, and 31年度の事業内容. Includes a list of main tasks (主要事業) on the left and implementation details for each year.

事務事業名	市民参加型イベント開催支援事業	事務事業No.	50302000959	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- ・合併前から実施していた「町民祭」や「商工祭」が、合併を機に「桜川市民祭」と名称を変更して開催した。平成28年度からは4月のヤマザクラ時期に開催し、観光的イベントとして「SAKURAフェスティバル」に生まれ変わった。
- ・5年前と比べると市外の来場者も増えているようである。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

駐車場が不足しており、会場近くに確保してほしい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

- ・市民祭を一つに統合した場合、開催場所や時期について課題となるため、最善策をとれるようアンケートなどを活用して実行委員会で協議する。
- ・平成28年度からSAKURAフェスティバルとして開催するが、4月開催の定着化と集客が課題であり、桜川市観光協会や地元市民団体との連携を図り、山桜を軸として回遊性を持たせて呼び込んでいく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	観光の振興やイベントの充実が図られ、市外からの来場者も増えてきており結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	ヤマザクラを核としたまちづくりの一環として、地場産業や市特産品のPRの場としている。また一方で、市民参加型のイベントを開催することで、市民の融和を図るとともに、郷土文化に対する愛着と誇りを高めることを目的としている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	開催時期や催事内容、会場レイアウトなどを見直すことで、来場者が興味を持つようなイベントを開催する事が出来ることから向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民同士の融和が図られなくなると共に、観光イベント及び商工業PRの場が減ってしまい影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	桜川市観光協会と連携し、イベントのPRを強化していく。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	商工会などの関係団体と更に連携を図ることにより、効率的な運営ができる余地はある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	全市民が対象であるので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	平成28年度は第1回目の開催となった。来場者数は例年より若干少ない程である。PR強化のため、今後は「真壁のひなまつり」の来場者を対象にチラシを作成するなど、様々な試みを実施していきたい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
アンケートなどを活用して課題の提起、そして解決策を実行委員会で協議する。 4月開催の定着化と集客が課題であり、桜川市観光協会や地元市民団体との連携を図り、山桜を軸として回遊性を持たせて呼び込んでいく。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>